

Blu-ray Disc™ の表示に関する運用基準

2010年11月 1日制定

一般社団法人 日本レコード協会
情報・技術委員会

『Blu-ray Disc™ の表示に関する運用基準』の発行に当たって

Blu-ray Disc™（ブルーレイディスク™）は、DVDに共通する形状・用途を持ちながらも独自のインタラクティブ機能・高容量を実現した、新世代の光ディスクである。

2006年のBD-ROMライセンススタートに伴うBD-ROM商品発売開始以後、近年急速に普及し、当協会会員のレコード各社でもBD-ROM商品が発売されているが、その表示に関する基準はなく、DVDビデオの表示規格（RIS403）等を参考に各社で対応している状況であった。

しかし、BD-ROMの発売数が増加し、多様な機能に対応したソフトが浸透していくなかで、各社からはBD-ROMの表示基準を作成するよう要望が出ていた。

これを受け、当協会情報・技術委員会で検討した結果、Blu-ray Disc™ は新規商品であり、今後の更なる普及には未知な部分があることや、問題の解決に一刻も早い基準設定が求められていることから、今回の表示についてはRIS規格ではなく運用基準とすることとし、2010年6月「Blu-ray Disc™ の表示に関する運用基準検討WG」を特設し、検討を開始した。

この運用基準では、BD-ROM商品における一般的な表示項目や注意事項、さらに再生機能を用いた場合の表示事項及び表示方法を規定している。この目的は、消費者の店頭での誤認・誤購入及び再生時の混乱を防止することと、ブルーレイ™ ビデオ商品の円滑な市場導入及び健全な市場育成を図ることである。

以上の経緯をもって、当情報・技術委員会はここに「Blu-ray Disc™ の表示に関する運用基準」として発行することとした。この運用基準は、あくまでも各社の参考に資するためのものであり、各社の自由な表示を制限するものではない。

なおこの運用基準の作成に際しては、Blu-ray Disc Associationから、Blu-ray Disc™ の仕様に関するアドバイスを頂くなど、多大な協力を賜った。

2010年11月
一般社団法人 日本レコード協会
情報・技術委員会

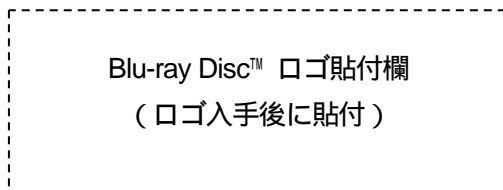
Blu-ray Disc™ の表示に関する運用基準

1. 目的 この運用基準は、Blu-ray Disc™ (ブルーレイディスク™)規格準拠製品の発売に当たり、基本的な再生機能などの表示事項及び表示方法を定め、一般消費者の誤認・誤解による誤購入、再生上の混乱などを防止し、健全な市場育成を図ることを目的とする。
2. 適用範囲 この運用基準は、一般市販用のブルーレイ™ ビデオ商品（以下、BD-ROM という。）の表示事項及び表示方法について規定する。
なお、この運用基準に用いる附属品の名称については、RIS 206 の規定に準拠する。
3. 引用規格・文献 この運用基準の引用規格・文献を、次に示す。引用規格は、その最新版を適用する。
 - JIS X 0501 共通商品コード用バーコードシンボル
 - RIS 206 DVD専用ジュエルケース附属品
 - RIS 403 DVDビデオの表示事項及び表示方法
 - RIS 502 レコード商品番号体系
 - 容器包装識別表示ガイドライン
 - Blu-ray Disc Associations (BDA) 発行 BD-ROM Technical White Paper ()() White Paperは、下記URLで最新版を確認のこと：
<http://www.blu-raydisc.com/en/Technical/TechnicalWhitePapers/BDRom.html>
4. 表示事項及び内容 BD-ROM に表示されるべき基本的な項目及びその内容は、次による。
 - 1) Blu-ray Disc™ ロゴ BD-ROM の製造・販売に関する BDA とのライセンス契約に基づく指定のマークをいう。
 - 2) ディスク・タイプ 当該 BD-ROM のディスクに関する情報（一層・二層、ハイブリッドBD など）をいう。
 - 3) レーベル・マーク 当該 BD-ROM を発売する会社が所有・管理する商標、原盤契約に基づき使用する商標又はマークなどを総称したもの。
 - 4) プログラム内容 映画作品における“タイトル”，“スタッフ(監督,脚本,音楽など)”，“キャスト(主な俳優など)”など。また、音楽作品における“アルバム・タイトル”，“曲名”，“著作者(作詞者,作曲者など)”，“実演家(歌手,演奏者,指揮者など)”など、当該 BD-ROM に収録されているプログラムの内容に関する情報をいう。
 - 5) 画面(スクリーン)サイズ スタンド(1.33:1)、ピクササイズ(1.85:1)、シネスコサイズ(2.35:1)など、収録されているオリジナル・プログラムの画面(スクリーン)サイズをいう。
 - 6) カラーモード表示 収録されている作品の映像カラーモードの区別をいう。
 - 7) 再生可能地域管理表示 当該 BD-ROM に収録されている作品について、権利者が再生地域(リージョン・コード)を限定する場合の表示をいう。
 - 8) 収録時間 収録されているプログラム本編の長さ(時間)をいう。

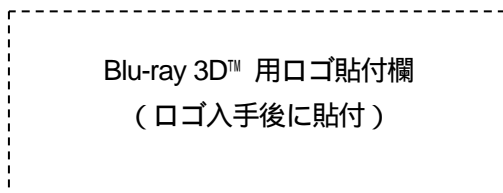
- 9) タイトル/チャプター番号 再生時において、当該 BD-ROM に収録されている作品のタイトルやチャプターを選択するための番号。
- 10) 映像情報(映像圧縮方式・映像タイプ及び映像画素数/フレームレート/アスペクト比) 収録された作品に用いられた映像圧縮方式名(MPEG-2 ,MPEG-4 AVC ,SMPTE VC-1 ,又は MPEG-4 MVC)の区別,映像タイプ(3D,ハイビジョン・HD(高品位),又はSD(NTSC)),及び映像画素数/フレームレート/アスペクト比などの情報を表示する。
- 11) 音声記録方式名及び内容 それぞれの音声トラックごとに,音声仕様,録音方式,音声内容及び使用言語を表示する。
- 12) 権利擁護表示 当該 BD-ROM の製作者及び関係権利者の権利を擁護するため,“複製”,“貸与”,“公衆送信”,“公開上映”などの違法な行為を禁止する表示をいう。
- 13) 著作権保護技術表示 当該 BD-ROM に設定されている AACS などの著作権保護技術についての表示をいう。
- 14) 賃貸禁止表示 レンタル禁止商品である場合の表示をいう。
- 15) 録音許諾表示 収録されている音楽作品は,一般社団法人日本音楽著作権協会(JASRAC)などとの作品使用契約に基づき,権利者の許諾を得て録音したものであることを明示する指定マークの表示をいう。©表示 当該 BD-ROM に関する製作者の著作権について,万国著作権条約の規定に基づく条約上の保護を受けるための表示をいう。
- 16) ©表示 当該 BD-ROM に関する製作者の著作権について,万国著作権条約の規定に基づく条約上の保護を受けるための表示をいう。
- 17) 複製不能表示 デジタルコピー又はアナログコピーを禁止している場合の表示をいう。
- 18) 原産国表示 景品表示法に基づく“商品の原産国に関する不当な表示(告示)”及び“運用基準”に従い,当該 BD-ROM を製造(プレス)した国名を明示した表示をいう。
- 19) 価格 当該 BD-ROM の発売会社が表示する小売価格をいう。
- 20) 商品番号 当該 BD-ROM の発売会社が表示する RIS 502 に基づく商品分類用の記号・番号をいう。
- 21) JAN コード JAN(Japanese Article Number)コード体系に基づき,当該 BD-ROM の発売会社が表示する POS バーコードをいう。
- 22) 発売年月日 当該 BD-ROM の新譜発売年月日(定期発売日又は臨時発売日)を表示する。
- 23) 発売会社名又はその略号 当該 BD-ROM を発売する会社名をいう。
- 24) 製造会社名又はその略号 当該 BD-ROM を製造した会社名をいう。
- 25) 商品説明表示 BD-ROM を簡単に説明したものをいう。
- 26) 取扱注意事項 消費者の不用意な取扱いや保管による事故を防止するためのものをいう。
- 27) 再生機能表示 BD-ROM の各種機能を用いている場合は,それぞれの取扱説明文,又は指定マークを表示する。
- 28) その他注意事項 消費者の誤解・誤認を防止するための表示をいう。

5. 表示の方法 表示の方法は、原則として次のとおりとする。

- 1) Blu-ray Disc™ ロゴ BDA との契約により、BD-ROM 用指定マークを表示することができる。

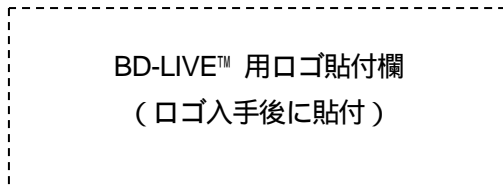


Blu-ray 3D™ を収録した作品の場合は、BDA との契約により、3D 用指定マークを表示することができる。

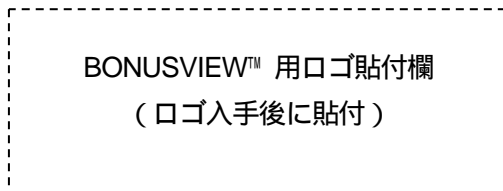


ただし、アナグリフ方式、サイドバイサイド方式などの場合はこのロゴを用いることはできない。

BD-LIVE™ を収録した作品の場合は、BDA との契約により、BD-LIVE™ 用指定マークを表示することができる。



BONUSVIEW™ を収録した作品の場合は、BDA との契約により、BONUSVIEW™ 用指定マークを表示することができる。



備考 Blu-ray Disc™ ロゴ、Blu-ray 3D™ 用ロゴ、BD-LIVE™ 用ロゴ及び BONUSVIEW™ 用ロゴの清刷の入手、表示方法の詳細については、Blu-ray Disc Association License Office* 又は製造委託先会社に照会のこと。

* Blu-ray Disc Association License Office URL : <http://www.blu-raydisc.info/>

各種ロゴの表示は、指定された場所に、BDA が定めるロゴガイドに従い(サイズ・色・余白など)行うこと。

- 2) ディスク・タイプ 当該 BD-ROM のディスクに関する情報（一層または二層，ハイブリッド BD など）を表示すること。

表示の例を，次に示す。

例 1 一層ディスク

例 2 ハイブリッド盤（BD-ROM・DVD）

例 3 ハイブリッド盤（BD-ROM・CD）

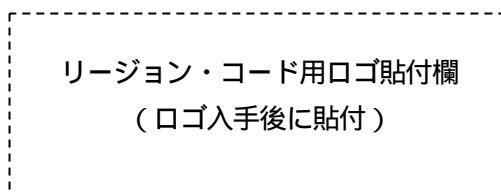
参考 ハイブリッド盤とは，BDA で定められた Hybrid Disc（1 枚のディスクが BD-ROM 一層と，DVD-ROM 又は CD-ROM の二層から構成）を指す。

- 3) レーベル・マーク 表示は，それぞれ各社の規定或いは関係権利者との役務契約などに準拠して，適切に行うものとする。
- 4) プログラム内容 表示は，作品使用契約などに準拠して，できるだけ具体的，かつ詳細に行うこと。
- 5) 画面（スクリーン）サイズ スタANDARD(1.33:1)，ピスタサイズ(1.85:1)，シネスコサイズ(2.35:1) など，収録されているオリジナル・プログラムの画面（スクリーン）サイズを適切な方法で表示する。
- 6) カラーモード表示 表示は，片仮名又は英文字のいずれで記載してもよい。また，モノクローム（MONOCHROME）はモノクロと略称してもよい。

なお，カラーとモノクロームが混在している場合には，双方を併記する。

- 7) 再生可能地域管理表示 再生可能地域コード（リージョン・コード）を設定する場合は，Blu-ray Disc Association License Office*に申請し，ロゴ表記は Region Playback Control Logo Guide に準ずること。リージョン・コードを設定しない場合は表記をせず，販売対象地域のみ記載する。販売対象地域の表示は，“日本市場向け”又は“日本国内向け”とする。その他の地域については対象地域の設定に準ずる。

* Blu-ray Disc Association License Office URL： <http://www.blu-raydisc.info/>



参考 BD-ROM のリージョン・コードは 3 種類あり，下記の分類となっている。

A：日本，朝鮮半島，台湾，東南アジア，南北アメリカ及びそれらの海外領土

B：ヨーロッパ，中近東，アフリカ，オセアニア及びそれらの海外領土

C：中央・南アジア，中華人民共和国，ロシア，モンゴル

- 8) 収録時間 収録されているプログラム本編の長さ（時間）を表示する。なお，本編と別に特典映像などが収録されている場合は，本編と特典映像などの収録時間をそれぞれ記載することが望ましい。また，表示にあたっては実時間を表示すること。

例 本編 90 分 + 特典映像 15 分。

- 9) タイトル / チャプター番号 タイトル / チャプターの表記は，片仮名又は英文のいずれでもよい。

- a) **タイトル番号** タイトル（一つの作品として完結しているプログラム）を識別する番号で、ディスク面別に収録順序に従ってタイトルごとに1番から付番する。
カラオケ作品の場合は、それぞれの曲ごとにタイトル番号を付番する。
表示は、該当する収録作品名の表示と一体で行う。
- b) **チャプター番号** タイトルの中を細分化（個々のシーン、楽曲など）する場合に用いる番号で、各タイトル別に収録順序に従い1番から付番する。
表示は、該当するシーン、個々の楽章などの表示と一体で行う。
- 10) **映像情報**（映像圧縮方式・映像タイプ及び映像画素数/フレームレート/アスペクト比）
作品ごとに、映像圧縮方式、映像タイプ、及び映像画素数/フレームレート/アスペクト比を表示し、適切な説明文を付記する。
- a) **映像圧縮方式** 映像圧縮方式名（MPEG-2, MPEG-4 AVC, SMPTE VC-1, 又は MPEG-4 MVC）を表示する。
表示の例を、次に示す。
例

MPEG-2

- b) **映像タイプ** 映像タイプ（3D, ハイビジョン・HD（高品位）, 又は SD（NTSC））を適切な方法で表示する。
本編と特典映像でそのタイプが異なる場合は、次に示す表示例を参考に別途明記する。
例1 特典映像はハイビジョン・HD（高品位）解像度ではありません。
例2 特典映像はSD（NTSC）解像度です。
3D 映像にサイドバイサイド方式・アナグリフ方式などを採用している場合は、次に示す表示例の通り、その旨を併記すること。
例 3D（サイドバイサイド方式）
この場合、BDA が定める「Blu-ray 3D™」とは方式が異なるので、表記には注意すること。
- c) **映像画素数/フレームレート/アスペクト比** 映像画素数、フレームレート、アスペクト比をそれぞれ適切な範囲で表示する。

参考1 BD-ROM に記録される映像の画素数 x フレームレート, (アスペクト比) は、下記の種類が存在する。

- ・ 1920 x 1080 x 59.94-i, 50-i (16:9)
- ・ 1920 x 1080 x 24-p, 23.976-p (16:9)
- ・ 1440 x 1080 x 59.94-i, 50-i (16:9)
- ・ 1440 x 1080 x 24-p, 23.976-p (16:9)
- ・ 1280 x 720 x 59.94-p, 50-p (16:9)
- ・ 1280 x 720 x 24-p, 23.976-p (16:9)
- ・ 720 x 480 x 59.94-i (4:3/16:9)
- ・ 720 x 576 x 50i (4:3/16:9)

このうち、3D 規格のサポートする 画素数 x フレームレート, (アスペクト比) は下記の3種類である。

- ・ 1920 x 1080 x 23.976-p x 2 (16:9)
- ・ 1280 x 720 x 59.94-p x 2 (16:9)
- ・ 1280 x 720 x 50-p x 2 (16:9)

参考2 フレームレートの後ろに記録する p は「プログレッシブ」, i は「インターレース」を指す。

参考3 元素材の映像情報と当該 BD-ROM の映像情報が異なる場合, 双方の映像情報を適切に表示すること。

- 11) 音声記録方式名及び内容 それぞれの音声トラックごとに, 音声仕様, 録音方式, 音声内容及び使用言語を表示し, 適切な説明文を付記する。
- a) 音声トラック 使用している音声トラック数を示す指定マークを表示する。ただし, 音声トラックが単数の場合は指定マークの表示を省略してもよい。
 - b) 音声仕様 音声仕様 (リニア PCM, Dolby Digital, DTS, Dolby Digital Plus, Dolby True HD 又は DTS-HD) を表示する。
 - c) 音声品質 サンプリングレート, 量子化ビット数, チャンネル数を適切な方法で表示する。
参考 元素材の音声品質と当該 BD-ROM の音声品質が異なる場合, 双方の音声品質を適切に表示すること。
 - d) 録音方式 モノホニック, ステレオホニック, サラウンドなどの別を表示する。
なお, モノホニックはモノ又は MONO, ステレオホニックはステレオ又は STEREO と略称してもよい。
 - e) 音声内容及び言語 映画作品におけるオリジナルのサウンドトラック, 吹き替えのサウンドトラック, ストーリー解説などの区分とその使用言語。音楽作品における歌唱もの, 演奏ものの区分とその使用言語。カラオケ作品におけるカラオケ, 範唱の区分などを表示する。
 - f) 説明文 文例としては次のようなものがある。
例 このタイトルは, 音声選択操作でご希望の音声を再生することができます。


表示の例を, 次に示す。

例1 三つの音声トラックを使用した映画作品の例



トラック No.	音声仕様	録音方式	音声内容及び言語
1	ドルビー TrueHD	8ch	オリジナル(英語)
2	ドルビーデジタル	5.1ch	日本語吹き替え
3	ドルビーデジタル	5.1ch	解説(日本語)

例2 二つの音声トラックを使用した音楽作品の例



トラック No.	音声仕様	録音方式	音声内容及び言語
1	リニアPCM	ステレオ	ライブ映像
2	ドルビーデジタル	5.1ch	日本語(オーディオコメンタリー)

備考 リニア PCM 以外の音声仕様を採用した場合は規定のロゴマーク及び商標確認表記文が必要である。

- 12) 権利擁護表示 次に例示する方法によって，“複製”，“貸与”，“公衆送信”，“公開上映”などの違法な行為を禁止していることを明示する。

例 このディスクは，一般家庭内における私的再生に用途を限って販売されています。従って有償・無償に拘らず，権利者の書面による事前の承認を得ず，複製・貸与・公衆送信・上映等を行うことを禁止いたします。

- 13) 著作権保護技術表示 当該 BD-ROM に，著作権保護技術「Advanced Access Content System（AACCS）」のうち下記機能を設定する場合は，AACCS のライセンスに従い明示する。

- ・ Image Constraint Token (ICT) アナログ映像出力の解像度制限を設定している場合は，その旨を明記すること。なお，日本国内で販売する BD-ROM ディスクの場合，ICT は 2010 年 12 月 31 日までは運用できないため注意すること。

表示の例を，次に示す。

例 ICT（アナログ映像出力の画質制限）：ON

- ・ Digital Only Token (DOT) アナログ映像出力を禁止する設定をしている場合は，その旨を明記すること。また，DOT を運用する場合は AACCS のライセンス契約条件に従うこと。

表示の例を，次に示す。

例 DOT（アナログ映像出力禁止）：ON

- 14) 賃貸禁止表示 レンタル禁止商品である場合には，その旨を明示する。

表示の例を，次に示す。

例 レンタル禁止

- 15) 録音許諾表示 一般社団法人日本音楽著作権協会（JASRAC）などとの作品使用契約に基づき，指定マークを表示する。

- 16) ©表示 万国著作権条約の規定に基づく条約上の保護を受けるために，適切に表示する。表示は“©記号”，“最初の発行年（西暦）”，“権利者名”を接近した位置に併記する。

例 ©2001 Co.

- 17) 複製不能表示 AACCS の設定が「Never Copy」で，デジタルコピーを禁止している場合，ないし AACCS の設定がアナログコピーを禁止している場合は，その旨適切に表示する。

明記例及び説明文例を次に示す。

例 1 複製不能

例 2 この商品は，コピーは出来ません。

例 3 アナログコピー不可

- 18) 原産国表示 当該 BD-ROM を製造（プレス）した国名を表示する。

日本製である旨の表示には，次に例示するものがある。

例 1 MADE IN JAPAN

例 2 MANUFACTURED BY Co., JAPAN

- 19) 価格 表示は、消費者が外観から容易に識別できるよう、10級（7ポイント）以上の活字を用いて適切に行うこと。

表示の例を、下に示す。

例1 ¥3,800（本体¥3,619）

例2 ¥4,800（税込）¥4,571（税抜）

- 20) 商品番号 RIS 502 で規定される商品分類用の記号・番号を外観から明瞭、かつ、容易に読み取ることができるように表示する。

なお、キャップ背部へは、10級（7ポイント）以上の活字を用いること。

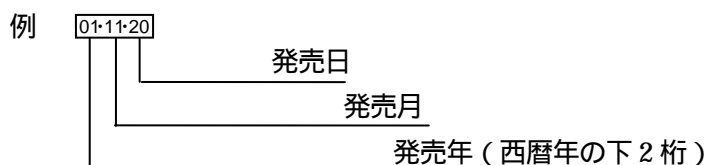
- 21) JAN コード バーコードシンボル（POS用バーコード）は、POSレジスタで確実に読み取ることができるように表示する。

なお、バーコードシンボルは、JIS X 0501 に準拠したものであること。

- 22) 発売年月日 発売年月日を表示する場合は、原則として次のとおりとし、容易に識別できるように印刷する。

a) 活字：ヘルベチカ・レギュラー10級（7ポイント）

b) 枠：高さ・3mm，幅・約10mm



- 23) 発売会社名又はその略号 ここでいう略号とは、株式会社を（株）又は（K・K）と略す、若しくは会社名を英文で表示する程度までをいう。

- 24) 製造会社名又はその略号 製造会社名は、略称（記号）で表示してもよい。

- 25) 商品説明表示 新規商品であるBD-ROMを簡単に説明したものをいう。

説明文例には、次のものがある。

例 ブルーレイディスク™（BD-ROM）は高品位の画質や音声を記録した新世代光ディスクです。BD-ROM対応プレーヤで再生して下さい。

また、3Dの映像を含む商品の場合は、別途下記のような説明文を表示すること。

例 本商品には3D立体映像が収録されています。3D映像は「Blu-ray 3D™」のロゴのあるプレーヤと3D対応テレビでお楽しみください。

- 26) 取扱注意事項 消費者の不用意な取扱や保管による事故を防止するために適切に表示すること。

表示の記載例としては、次のようなものがある。

- a) 再生上の取扱の表示例

<再生上の取扱>

- ブルーレイディスク™（BD-ROM）は高品位の画質や音声を記録した新世代光ディスクです。各再生機能操作については、ご使用になるプレーヤ及びテレビの取扱説明書を必ずご参照下さい。
- パソコンでの再生は、ブルーレイ™対応ドライブが必要です。また、パソコンの仕様や環境により、不具合が発生する場合があります。

b) アナログコピーガード（マクロビジョン）を施した場合の注意

- ブルーレイディスク™ プレーヤからビデオデッキ等を経由してテレビに接続すると、コピーガード信号の影響で画像が乱れることがありますので、ブルーレイディスク™ プレーヤの映像出力から直接テレビに接続してください。

c) 鑑賞上の注意事項の表示例

< 鑑賞上のご注意 >

- 暗い部屋で画面を長時間見つづけることは、健康上の理由から避けてください。また、小さなお子様の視聴は、保護者の方の目の届く所でお願いします。なお、3D 映像を収録した作品の場合は別途下記のような表示例がある。
- 3D 映像の見え方には、個人差があります。また個人差により、まれに体調不良が引き起こされることがあります。
- 3D 映像の視聴年齢については、およそ（ ）歳以上を目安にしてください。（ ）視聴年齢表記の有無及び年齢設定は、各コンテンツ若しくは各社の判断により適切に決定すること。

d) 取扱上の注意事項の表示例

< 取扱上のご注意 >

- ディスクは、両面共に、指紋、汚れ、キズなどを付けないように取り扱ってください。
- ディスクが汚れたときは、メガネふきのような柔らかい布で内周から外周に向かって放射状に軽くふき取ってください。レコード用クリーナーや溶剤などは使用しないでください。
- ディスクは、両面共に、鉛筆、ボールペン、油性ペンなどで文字や絵を書いたり、シールなどを貼付しないでください。
- ひび割れや変形、又は接着剤などで補修したディスクは、危険ですから絶対に使用しないでください。

e) 保管上の注意事項の表示例

< 保管上のご注意 >

- 直射日光の当たる場所、高温・多湿な場所での使用・保管は避けてください。
- ご使用後、ディスクは必ずプレーヤから取り出し、専用ケースに入れて保管してください。
- プラスチックケースの上に重い物を置いたり、落としたりすると、ケースが破損し、ケガをすることがあります。

27) 再生機能表示 BD-ROM の各種機能を用いているときは、それぞれ該当する表示を行うこと。

なお、取扱説明文には次に例示するような、それぞれの機能に適した補足説明文、もしくは指定マークを付記すること。


例 機能操作については、ご使用になるプレーヤの取扱説明書をご参照ください。

備考 指定マークの印刷方法の詳細、清刷などの入手については、製造委託先会社へ照会のこと。

- a) サブタイトル（副映像） タイトルに設定されたサブタイトル・トラック数を示すマークと、各トラックに記録されている内容を表示する。

なお、サブタイトルが、一つの時も指定マークを表示すること。

例 二つのサブタイトル・トラックを使用した例

	トラック No.	内容
	1	英語字幕
	2	日本語字幕

説明文例 このサブタイトルは、サブタイトル選択操作で希望する字幕を表示することができます。

- b) マルチアングル機能 タイトル又はチャプターに設定された選択可能なアングル数を示す指定マークと取扱説明文を表示する。

例1 2アングルマークの例 例2 3アングルマークの例 例3 4アングルマークの例



説明文例 このタイトル（チャプター）は、アングル切り替え操作で希望するアングルを表示することができます。

- c) オートセットスタート機能 オートセットスタート機能を設定したディスクの場合は、その旨を適切な説明文で表示する。

説明文例 このディスクは、プレーヤに挿入後、自動的にメニュー画面又は本編の再生を開始します。ただし、プレーヤによっては、「PLAY」ボタンを押さないと動作しない場合があります。

- d) オートマッチピクチャーストップ機能 オートマッチピクチャーストップ機能を設定したタイトルの場合は、その旨を適切な説明文で表示する。

説明文例 このタイトルは、自動的に静止画再生を行う箇所があります。画面の案内に従ってプレーヤを操作してください。

- e) ポップアップメニュー ポップアップメニューを用いている場合は、その旨明記すること。

明記例及び説明文例を次に示す。

例 1 ポップアップメニュー対応

例 2 この商品には、本編再生中にプレーヤまたはリモコンの操作により“ポップアップメニュー”を呼び出すことができます。

- f) ブラウザブルスライドショー スライドショーとブラウザブルピクチャー（ブラウザブル静止画）の別とアスペクト比、カラーと白黒の別を明記する。

例 1 静止画付（スライドショー / 4:3 / カラー）

例2 この商品には、静止画が収録されています。

- g) BD-LIVE™ インターネットに接続しないと表示できないコンテンツがある場合は、その旨を記載すること。

例1 BD-LIVE™ 対応

例2 この商品には、BD-LIVE™ 対応コンテンツが収録されています。

- h) BONUSVIEW™ ピクチャー・イン・ピクチャーなどの BONUSVIEW™ を設定している場合は、その旨を記載すること。

- i) テキスト字幕機能 テキスト字幕機能を用いている場合は、その旨明記すること。

- j) システムメニュー操作

- (1) 記録言語の表示 システムメニューに用意された言語の種類を表示する。

例 メニュー画面对応言語：日本語、英語、ドイツ語の三ヶ国語で収録されています。

- (2) ディスク又はタイトルの表示 システムメニューを記録したディスク又はタイトルの場合は、その旨を適切に表示する。

例 ・ このディスクは、タイトル選択画面（タイトルメニュー）で希望するタイトルを再生することができます。

・ このタイトルは、チャプター選択画面（チャプターメニュー）でチャプター選択操作をすることができます。

・ このタイトルは、アングル選択画面（アングルメニュー）でアングル選択操作をすることができます。

- 28) その他注意事項 消費者の誤解・誤認を防止するために、次に例示するような場合には、その旨を適切な方法で表示すること。

コンサートの実況など、ライブもののプログラムを使用したとき。

演奏もの音楽ビデオで、歌唱ものと誤認される恐れがあるとき。

音楽ものビデオで、多数曲をメドレーに編曲した楽曲を使用したとき。

外国映画などの場合、字幕スーパーのプログラムを使用したとき。

例 この作品の映像には、日本語字幕が予め収録されています。

記録ものなど、古いフィルムやプログラムを使用したとき。

以前発売した異なるメディアの商品と同一内容であるとき。

例 この作品は、年発売の同名 DVD 作品と同一の内容です。

<ブルーレイディスク™ について>

- ・ Blu-ray Disc™（ブルーレイディスク™）、Blu-ray 3D™（ブルーレイ 3D™）、BD-LIVE™、BONUS VIEW™ 及び関連のロゴは、Blu-ray Disc Association の商標です。
- ・ Blu-ray Disc™（ブルーレイディスク™）は、ブルーレイディスクアソシエーションの商標であり、高品位オーディオビジュアルの記録及び大容量データのソフトウェア・アプリケーションのために開発されたブルーレイディスクアソシエーションの光ディスク規格を用いたディスクやプレーヤなどの製品について、ライセンスされています。
- ・ ブルーレイディスク™ 関連規格、及びロゴの使用は、ブルーレイディスクアソシエーションと契約が必要です。以下のホームページに手続き方法が記載されています。

<http://www.blu-raydisc.info/>

6. 表示の場所 表示の場所は、原則として表1及び表2のとおりとする。

表1 ジュエルケース（CDタイプBlu-rayトレイ）の場合の表示場所

表示項目	表示の場所								
	ディスク 本体	ブックレット		表カード		折込み カード	裏カード	キャップ	
		表1	その他	表1	その他			表1又は4	背部
1) Blu-ray Disc™ ロゴ		*1		*1				*2	*2
2) ディスク・タイプ									
3) レーベル・マーク									
4) プログラム内容									
5) 画面（スクリーン）サイズ									
6) カラーモード表示									
7) 再生可能地域管理表示									
8) 収録時間									
9) タイトル/チャプター番号									
10) 映像情報									
11) 音声記録方式名及び内容									
12) 権利擁護表示									
13) 著作権保護技術表示									
14) 賃貸禁止表示									
15) 録音許諾表示									
16) ©表示									
17) 複製不能表示									
18) 原産国表示									
19) 価格							*1		
20) 商品番号									
21) JAN コード									
22) 発売年月日									
23) 発売会社名又はその略号									
24) 製造会社名又はその略号									
25) 商品説明表示									
26) 取扱注意事項									
27) 再生機能表示									
28) その他注意事項									

備考 1. 印は、指定するそれぞれの場所に、必ず表示するもの。

2. , , 等の丸数字は、同一番号内において指定の場所又はそのいずれかの場所に表示するもの。なお、番号は便宜上のもので、表示の優先順位を示すものではない。

3. *1 印は、キャップにある場合は表示しなくてもよい。

4. *2 印は、キャップの代わりにシールを用いる場合は、シールに表示するもの。

表2 トールケース (BD-ROM 標準ケース) の場合の表示場所

表示項目	表示の場所						折込み カード
	ディスク 本体	表カード			ブックレット		
		表1	表4	背部	表1	その他	
1) Blu-ray Disc™ ロゴ							
2) ディスク・タイプ							
3) レーベル・マーク							
4) プログラム内容							
5) 画面 (スクリーン) サイズ							
6) カラーモード表示							
7) 再生可能地域管理表示							
8) 収録時間							
9) タイトル / チャプター番号							
10) 映像情報							
11) 音声記録方式名及び内容							
12) 権利擁護表示							
13) 著作権保護技術表示							
14) 賃貸禁止表示							
15) 録音許諾表示							
16) ©表示							
17) 複製不能表示							
18) 原産国表示							
19) 価格							
20) 商品番号							
21) JAN コード							
22) 発売年月日							
23) 発売会社名又はその略号							
24) 製造会社名又はその略号							
25) 商品説明表示							
26) 取扱注意事項							
27) 再生機能表示							
28) その他注意事項							

備考 1. 印は、指定するそれぞれの場所に、必ず表示するもの。

2. , , 等の丸数字は、同一番号内において指定の場所又はそのいずれかの場所に表示するもの。なお、番号は便宜上のもので、表示の優先順位を示すものではない。

7. 原案作成委員会 この運用基準の原案作成は、情報・技術委員会内に特設したブルーレイディスク運用基準検討WGが担当した。
その委員構成を、次に示す。

ブルーレイディスク運用基準検討WG委員構成表

	氏名	所属
(幹事)	鈴木 順三	ビクターエンタテインメント株式会社 ビクタースタジオ
(委員)	野手 英恵	日本コロムビア株式会社 生産管理部編集グループ
	冬木 真吾	日本コロムビア株式会社 スタジオ技術部技術支援グループ
	林 直宏	キングレコード株式会社 管理統括部制作宣伝管理グループ
	山本 圭一	ユニバーサルミュージック合同会社 録音部
	長瀬 元晴	株式会社EMIミュージック・ジャパン 管理本部 サプライチェーン部プロセスコントロールグループ
	大久保 茂	日本クラウン株式会社 シーアールエル室
	渡辺 隆志	株式会社ソニー・ミュージックコミュニケーションズ スタジオ&ネットワークカンパニー
	鳥越 久実子	株式会社ソニー・ミュージックコミュニケーションズ パッケージメディアカンパニーSME制作進行部
	栗山 稔	株式会社ポニーキャニオン 商品管理部制作進行グループ
	中山 泰徳	株式会社ポニーキャニオンエンタープライズ スタジオグループPC分室
	森 靖之	株式会社ワーナーミュージック・ジャパン 業務部進行 Vision グループ
	植田 泰生	株式会社バップ 映像制作センター制作グループ
	河野 洋一	株式会社サウンドインスタジオ
	潮平 彩樹	ジェネオン・ユニバーサル・エンターテイメント合同会社 プリプロダクショングループCSチーム
	田中 聖幸	エイベックス・マーケティング株式会社 第2販促営業本部商品部商品管理課
(事務局)	畑 陽一郎	一般社団法人日本レコード協会 管理部
	小峰 明子	一般社団法人日本レコード協会 管理部情報・技術グループ

審議制定 : 一般社団法人 日本レコード協会 情報・技術委員会
(委員長: 斉藤 正明, 2010.11.)
原案作成 : ブルーレイディスク運用基準検討WG (幹事: 鈴木 順三, 2010.11.)
発行 : 一般社団法人 日本レコード協会
東京都港区北青山2-12-16 北青山吉川ビル11F (〒107-0061)
電話 (03) 6406-0510
